

# 地域用水増進活動の紹介について

## —ハーブ植栽で減農薬・害虫防護に寄与 第2報—

札幌開発建設部 岩見沢農業事務所 工事課 ○中山 芳則  
奥井 宏  
北海土地改良区水土里ネット推進室 高柳 広幹

国営かんがい排水事業「空知中央地区」では、農業用水路の改修と併せて、地域用水機能の維持、増進を図ることとしている。本地区では「地域用水対策協議会」や「疎水ほっかい愛護連絡協議会」が中心となって、空知中央地区で整備した用水施設の維持管理として地域住民と協働し景観増進目的や減農薬に向けてハーブの植栽を行い、カメムシなどの害虫防護に寄与している。

本報は地域の人々と用水施設維持管理・環境増進に努めた活動内容について続報として紹介するものである。

キーワード：国営かんがい排水事業、地域協働プロジェクト、ハーブ植栽、維持管理活動

### 1. 国営かんがい排水事業「空知中央地区」の概要

国営かんがい排水事業空知中央地区は、石狩川左岸の中下流部の平坦地に拓けた水田地帯の赤平市・砂川市・奈井江町・美瑛市・三笠市・岩見沢市・新篠津村・南幌町を受益とした地区である。



図—1 空知中央地区概要図

本地区では平成10年10月に地区内の地域用水機能を維持・増進するため「地域用水対策協議会」を設立した。

地域用水とは、かんがい用水機能以外に作物洗浄や防火用水、さらに環境・生態系保全機能など地域に於ける多面的な役割を果たしている農業用水のことを指す。

Yoshinori nakayama, hiroshi okui, hiromiki takayanagi

「地域用水対策協議会」では北海土地改良区が中心となり、関係市町村において用水路の景観増進活動として、ハーブや樹木等の植栽・植樹活動、地域イベントでの啓発普及活動、農業用水施設の見学会など、様々な活動を実施している。

### 2. ハーブ植栽について

- ①ハーブの品種は多種にわたり、背丈の延びるもの、地面を這うように広がるもの、花が咲くもの、葉だけのもの等さまざまである。
- ②地域の農家では畦畔にカバープランツとしてハーブを植えカメムシの好むイネ科雑草の発生を抑制し、カメムシの産卵場所を減らし、生息数を減らして、害虫防除用の農薬を減らすよう努力している。米の品質を下げる害虫となっているのは、アカヒゲカスミカメという体長4～6mmのカメムシの一種である。この虫は口吻(こうぶん)というストロー状の物を使い、稲穂から吸汁加害し、その吸汁跡が斑紋となり、いわゆる斑点米となり等級が下がるなどの弊害を起こしている。



写真—1 アカヒゲカスミカメ

③空知中央地区地域用水対策協議会では、農業用水路脇などにハーブを植栽し景観増進を図っていることに併せて、地域のクリーン農業～減農薬米づくりの一助となるように活動を行っている。



写真一 2 畦畔のハーブ

### 3. ハーブ米について

空知中央地区の関係機関の中で特にJAみねのぶにおいては、平成11年から畦畔にハーブを植栽し、売れる米作りの販売戦略として、環境保全型農業によるブランド名「香りの畦みちハーブ米」の取り組みを行っている。

### 4. これまでの取り組みについて

空知中央地区の「地域用水対策協議会」では平成14年度から地区内の北海幹線用水路、幹・支線用水路に地域の方々等に協力を得ながら、害虫防護及び草刈り作業の労力節減並びに景観増進を目的としてハーブ植栽を行ってきた。

平成20年度までのハーブ植栽内容

・H14	10,000㎡	美唄市・奈井江町
・H15	10,000㎡	奈井江町・岩見沢市
・H16	10,500㎡	奈井江町・美唄市・岩見沢市
・H17	15,000㎡	奈井江町・美唄市・岩見沢市
・H18	11,200㎡	奈井江町・美唄市・岩見沢市 新篠津村
・H19	5,300㎡	奈井江町・砂川市・美唄市 新篠津村
・H20	5,900㎡	奈井江町・美唄市・岩見沢市 新篠津村
計	67,900㎡	

### 5. 植栽箇所等の維持管理について

平成19年6月には北海土地改良区の退職者が発起人となり、「疎水ほっかい愛護連絡協議会」が設立された。これは北海土地改良区管内を範囲とした疎水の愛護活動を目的とし、農業の持続的発展のため、地域と一体とな

って支援活動を推進するという趣旨により、疎水愛護に賛同する団体等をもって構成されたものである。

活動内容は

- ① 北海土地改良区管内水路網の疎水百選、北海道遺産保全のための活動を支援する。
- ② 農地・水・環境保全対策活動を支援する。
- ③ 災害緊急対応を支援する。

となっている。

この連絡協議会は、空知中央地区で整備した農業用水施設の維持管理の一部として、ハーブ植栽箇所等の雑草処理や農業用水路周辺の雑木処理活動を行い、用水路周辺の環境増進に努めており、平成19年度に2回、平成20年度に8回活動を実施している。

## 6. 平成19年度の活動実施状況

### 1) 地域用水対策協議会の活動状況

- ①平成19年4月29日(日) 奈井江町～京極幹線用水路  
ロギガウリタム 3,000本 参加者 約100名



写真一 3 植栽状況

- ②平成19年6月16日(土) 砂川市～豊沼6号支線用水路  
セイウミヤグサ 3,000本 参加者 約60名



写真一 4 植栽状況

③平成19年7月9日(月) 美唄市～光珠内甲幹線用水路  
ブルーキャットミント 5,000本 参加者 約150名



写真一5 植栽状況

④平成19年10月4日(木) 新篠津村～基線幹線用水路  
レモンバーム・クレペリンガタム・ペパーミント・ポテンティラ 計2,500本  
参加者 約70名



写真一6 植栽状況

2)疎水ほっかい愛護連絡協議会の活動状況

① 平成19年7月11日(水)  
美唄市峰延北海幹線用水路右岸 参加者 約45名  
平成18年度ハーブ植栽箇所の除草作業



写真一7 活動状況

② 平成19年9月26日(水)  
砂川市晴見北海幹線用水路左岸 参加者 約35名  
平成18年度エゾヤブダケ植樹箇所の除草作業



写真一8 活動状況

## 7. 平成20年度の活動実施状況

1) 地域用水対策協議会の活動状況

①平成20年4月29日(火) 奈井江町～京極幹線用水路  
ロギガウスタム 5,000本 参加者 約100名



写真一9 植栽状況

②平成20年7月2日(水) 岩見沢市～大願幹線用水路  
アップルミント 4,300本 参加者 約100名



写真一10 植栽状況

平成18年度ハーブ植栽箇所の除草作業

- ③平成20年7月7日(月) 美唄市～光珠内甲幹線用水路  
ブルーキャットシト 5,000本 参加者 約160名



写真一 1 1 植栽状況



写真一 1 4 活動状況



写真一 1 5 活動後状況

- ④平成20年9月18日(木) 美唄市～北海幹線用水路  
ヒメツルニチチリウ 8,000本 参加者 約130名



写真一 1 2 植栽状況

- ② 平成20年6月13日(金)  
砂川市晴見北海幹線用水路左岸 参加者 約54名  
平成18年度エゾヤマザクラ植樹箇所の除草作業



写真一 1 6 活動状況

- ④平成20年10月3日(金) 新篠津村～基線幹線用水路  
アップルシト・サイジ 計1,700本 参加者 約70名



写真一 1 3 植栽状況

- ③ 平成20年8月20日(金)  
美唄市峰延北海幹線用水路右岸 参加者 約66名  
平成18年度ハーブ植栽箇所の除草作業



写真一 1 7 活動状況

2)疎水ほっかい愛護連絡協議会の活動状況

- ① 平成20年5月30日(金)  
美唄市峰延北海幹線用水路右岸 参加者 約85名

## 8. おわりに

今回、空知中央地区で行っている取り組みについて平成18年度報告の第2報として紹介した。

農業用用水路(埋設管路部含む)敷地等にハーブ植栽を行った結果、地元からは「用水路周辺の景観が良くなった」「子供から高齢者の人々が協力してハーブ植栽を行った事で地域の連帯感が感じられた」「自分で植えたハーブに愛着が湧き、花の咲く時期が楽しみだ」などの声が聞かれました。

地域用水対策協議会ではハーブ植栽による成果についても、今後関係農協、関係農家等から情報を得ていきたいと考えている。

本地区は今年度で完了を迎えるが、今後も岩見沢農業事務所では、北海土地改良区及び新篠津土地改良区と共に「国民に安全な食を提供する」というテーマに基づき、地域の人々と連携し様々な取り組みを積極的に行い、地域に根ざした顔の見える開発局を目指して活動することとしている。